

準シード・シード選手について(確認)

準シード選手の設定について(シングルスのみ)

春季総体および新人大会のシングルスにおいて準シード選手を設定し、準シード選手は抽選の際に「内側ゾーン」をひくものとする。「内側ゾーン」とは「ベスト8決定までシード選手とあたらないゾーン」と定義する。

「準シード選手」は次に該当する場合とする。ただし辞退することが可能である。

☆春季総体の場合

- ①春季強化大会のベスト16
- ②前年度新人大会シングルスのベスト8以上
- ③シード選手および上記①②に該当する選手を除いた校内ランク最上位

☆新人大会の場合

- ①全日本ジュニア予選のベスト16
- ②春季総体シングルスのベスト16以上
- ③全日本予選一般シングルスのベスト16以上
- ④シード選手および上記①②③に該当する選手を除いた校内ランク最上位

春季総体および新人大会のエントリー方法について

☆シングルスの場合

- ・シード選手がいない学校は従来通りA～Dゾーンに均等にエントリーする。
ただし、準シード選手については○を付してエントリーする。
辞退する場合には×を付す。
(校内ランク最高位選手の準シードを辞退する場合は無印のままでよい。)
- ・シード選手がいる学校についてはシード選手も含めて4つのグループに分けてエントリーをする。その際シード選手は均等に振り分けるものとし、◎を付す。
- ・シード選手該当校のエントリー数は春季総体の場合12人の枠外とするが、最大16名を超えないものとする。新人大会の場合はシード選手の有無にかかわらず8名とする。

☆ダブルスの場合

- ・シードペアがいない学校は従来通りAorBとCorDゾーンに均等にエントリーする。
- ・シードペアがいる学校についてはシードペアも含めて2つのグループに分けてエントリーをする。その際シード選手は均等に振り分けるものとし、◎を付す。
- ・エントリー数は4組とし、春季総体についてはシードペアを枠外とする(最大8組)。新人大会はシードペアがあっても枠内とする(最大4組)。

全国選抜・北信越選抜シングルス出場選手決定方法について

有資格者の中で、新人大大会シングルスの成績上位者に出場権を与えるものとする。
該当者が複数いる場合は決定戦を実施する。
決定戦の方法は技術委員長、進行委員長、事務局の合議により決定する。

新人大大会の個人戦シードについて

シングルスー過去の成績を参考に8名を「シード」する。
ただし、全日本ジュニア予選のベスト8と春季総体シングルスベスト8を優先してシードする。

- ・第1シード扱い選手1名
- ・第2シード扱い選手1名
- ・第3シード扱い選手2名
- ・第5シード扱い選手4名を技術委員会で決定し、春季総体同様シード抽選を実施する。

ダブルスー春季総体のベスト4以上、全日本予選一般ダブルスのベスト4以上、前年度新人大大会のベスト2以上のペアが複数エントリーされた場合のみ「シード扱い」とする。
該当ペアが複数エントリーされない場合は従来通りシードなしとする。
ただし該当ペアが複数エントリーされた場合でも、すべて同一校の場合は、該当校が分散するようエントリーの際に配慮する。

春季総体の個人戦シードについて

シングルスー春季強化大会の結果をもとに8名を「シード」する。
中学3年生がベスト8以上に入った場合は、シード選手決定戦を実施する。
シード選手決定戦で補充された選手は、残りの選手と同等に扱う。

- ・補充された選手を、第4シードや第8シードに固定することはない。
- ・シード選手決定戦は、資格を持つ選手によるフリー抽選の組み合わせによるトーナメントまたはリーグ戦で行う。

ダブルスー新人大大会のベスト4以上を「シード」する。